

# 市民アンケート

# 暮らしの大変さ、政治への怒り、行政への要望など市民の声がいっぱい

現在254通

日本共産党羽村市議団がとりくんでいる「市民アンケート」に多くの市民から様々な声が寄せられています。返信封筒に入れて届けられた数は254通（5月13日現在）で、過去最高の数。多くのアンケート用紙がびっしりと文字でうめられ、暮らしの大変さや政治への思いがひしひしと伝わってきます。

今回はそのアンケートの内容についてお伝えします。（集計作業の関係で、記事は先着198通についてのものです。）



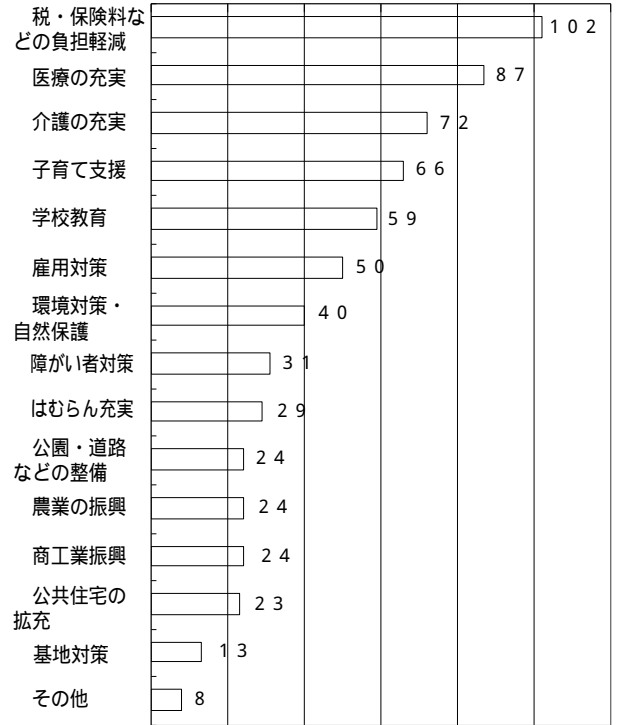
回答者のうちわけ（198人中）

性別	男：87人、女84人、未記入27人
年齢	20代：8人、30代：27人、40代：23人 50代：25人、60代：61人、70代：35人 80代：10人、90代：1人、未記入8人
職業	年金生活 55人、会社員 30人、パート26人、 自営業 19人、主婦 16人、アルバイト6人、 公務員 5人、契約社員 5人 など

## 羽村市に、特にとりくんで欲しいこと 税・保険料などの負担軽減、 医療の充実、 介護の充実

羽村市政へ望むこととしては、「税金・保険料などの負担軽減」を望む声が多く、全体の半分を超える人から要望がなされました。続いて「医療の充実」、「介護の充実」など社会保障制度の充実を望む声、「子育て支援」、「学校教育」など子どもに関する施策の充実を求める声がつぎきました。

（問）羽村市として特にとり組んでほしいことは？（複数回答）



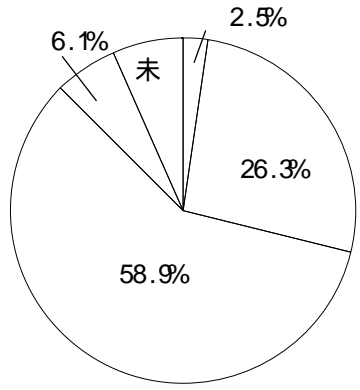
## 生活の実態 60%が「悪くなった」

「あなたの生活はいかがですか？」の問いには、下図のような回答となりました。「悪くなった」と答えた人が全体の約60%にのぼっています。

その理由として、「リストラをされて収入が無くなった。なかなか仕事が見つからない」といった仕事に起因するもの、「物価が高く医療費がかかるので暮らしにくい」など負担が増えたことによるものが多くを占めています。

（問）あなたの生活はいかがですか？

良くなった	5
変わらない	52
悪くなった	116
分からない	12
未回答	13



## 回答者は20代から90代まで。職業もさまざま

アンケートの回答者は、男女ほぼ同数。年齢は20代から90代まで幅広い年代にわたり、職業は年金生活者が最も多く27.8%、次いで会社員15.2%、パート13.1%と続きます。（右表）